



Title	工業集積地域における高校間格差と高校生の生活・意識：第1章 高校生の社会経済的背景と生活史
Author(s)	小内, 透
Citation	『調査と社会理論』・研究報告書, 16, 5-27
Issue Date	1998-03
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/22623
Type	departmental bulletin paper
File Information	16_P5-27.pdf



第1章 高校生の社会経済的背景と生活史

第1節 高校生の社会経済的背景

本稿で対象とする高校生たちは、この地域における上位、中位、下位の学校に通っている。それは、基本的に内申書を含めた入学試験の成績にもとづいたものであり、業績主義の原理による社会的選抜の結果に他ならない。そこでは、性や階級・階層という属性は、原則として重要な意味をもたないはずである。

しかし、実際にはD県の場合、伝統的な公立普通高校は男女別学となっており、この点で性という属性がどこの高校に行くのかにとって一つの制約要因になっている。同時に、これまでの先行研究が明らかにしてきたように、この地域でも高校間のヒエラルヒーと階級・階層間のヒエラルヒーが傾向的に対応していることが予想できる。その意味で、性や階級・階層を中心にした属性的な要因が通学する学校の違いをどの程度規定しているのかを問題にする必要が出てくる。いわば、業績主義の属性による制約の側面について、検討しなければならないということである。⁽¹⁾

本節では、こうした点をふまえ、まず高校生の社会経済的背景を、できるだけ幅広い角度から吟味してみよう。

表2は、学校別性別階層構成をみたものである。すでに述べたように、A校は男子校、B校、C校は男女共学校である。しかし、同じ男女共学校といっても、B校とC校では男女比が逆になっている。B校の女子比率が63.8%、C校で32.3%である。それは、基本的に商業関係の学科を基本としたB校と工業関係の職業科を基本としたC校の学科構成の違いに対応しており、職業関係の学科の志望が性別によって異なっている姿が見て取れる。

同時に、世帯を単位とする5つの階層分類（安定的経営・管理層、不安定経営・管理層、自営業者層、安定的労働者層、不安定労働者層）に基づいて見てみると、各校の階層構成も異なっている。⁽²⁾もちろん、この地域は大企業の事業所とその下請け群が集積しているため、どの高校でも自営業者層（商業・サービス自営、農業自営以外に、下請けの最末端に位置する製造業自営＝町工場が少なからず含まれる）と安定的労働者層（大企業に就労している一般労働者と官公庁勤務者）が多いという共通性がある。男女に関わりなく、いずれの学校の場合にも、自営業者層、安定的労働者層が、あわせて50～60%台に達している。しかし、それ以外の点では、学校ごとに大きく異なる特徴が見出せる。A校では、安定的経営・管理層（19.6%——大企業・官公庁の経営・管理職層）および不安定経営・管理層（13.2%——中小企業の経営・管理職層）の子弟が多く、反対にB校、C校では男女とも不安定労働者層（非常雇労働者と中小企業に就労している一般労働者）の子弟が多い。B校、C校の不安定労働者層の子弟の割合は男女とも4分の1以上となっている。とくにC校の男子の場合、不安定労働者層の子弟が40.5%と突出している。

したがって、自営業者層と安定的労働者層の子弟がぶ厚く存在する点でABC校とも共通しているものの、A校に安定的経営・管理層や不安定経営・管理層、B校、C校に不安定労働者層の子弟が相対的に多

表2 学校別性別階層構成（人、%）

		安定的 経営・ 管理層	不安定 経営・ 管理層	自 営 業 者 層	安定的 労 働 者 層	不安定 労 働 者 層	N
A 校		19.6	13.2	27.2	26.0	14.0	250
B 校	男	5.4	8.6	26.9	33.3	25.8	93
	女	6.1	3.7	32.9	28.7	28.7	164
C 校	男	7.1	6.0	26.2	20.2	40.5	84
	女	5.0	7.5	32.5	30.0	25.0	40

注) 階層不明の者を除く。以下、各表とも同じ。

く、とくにC校の男子にその傾向が顕著であることがわかる。ここから、A校とB・C校との間に、親の階級・階層的立場の大きな違いがあることが浮き彫りになる。

また、A校とB・C校の間には、単親家庭の比率という点で、大きな違いが見られる（A校：4ケース、1.6%→B校：20ケース、7.6%→C校：12ケース、9.4%）。その多くは、母子家庭であり、単親家庭のうち80.5%に及ぶ。C校の生徒の中には、両親がおらず、独身の叔父の家で生活している女子生徒もいる（「小4の時母が他界。中3の時父が他界」（C女・自営業））。このうち、単親家庭のほとんどをしめる母子家庭の場合、不安定経営・管理層の1ケースを除いて、経営・管理層としての階層的立場にある家庭は存在しない。しかも、自営業層（5ケース）、安定的労働者層（6ケース）も少なく、その多く（17ケース）が不安定労働者層に位置している。とくに、C校の母子家庭は、1ケースを除く、8ケースすべてが不安定労働者層になっている。

その意味で、母子家庭を主とする単親家庭の比率と母子家庭の階層的立場から見た場合にも、A校生に比べ、B・C校の生徒に不安定な状況におかれている者が多いことが明らかになる。とくに、C校生の場合、実数で見ると、B校生より単親家庭が少ないものの、比率ではB校を上回り、母子家庭の階層的位置も不安定な場合が多いという特徴が浮き彫りになる。

さらに、世帯年収で見ても、A校とB・C校の格差は大きく、A校が平均で920.3万円と最も高くなっている。これに対し、B校では、男子=705.1万円、女子=659.1万円、C校男子=687.7万円、女子=770.3万円となっている。したがって、B校・C校とA校の間には、平均で150万円～260万円の違いが見られる。B校女子とC校女子の間にもやや大きな差があるが、A校との差と比べれば、大きな差とはいえない（表3）。しかも、たとえ同一階層であっても、A校の場合、世帯年収はB・C校よりも高くなる傾向が見出せる。実際、自営業層以外の階層すべてで、A校の平均世帯年収が最高になっている。また、全体として不安定な階層が多い母子家庭についてみても、A校とB・C校の間には、世帯年収に関して、大きな格差が見られる。A校の母子家庭の場合、平均で550万円であるが、B校・C校では、346.2万円、300万円と、200万円の差がある。これに対し、B校とC校の間には、世帯年収で見えた場合、一貫した違いを見出すことはできない。したがって、A校の生徒がB・C校の生徒と比べ、全体的に経済的に恵まれているだけでなく、世帯階層が同一であっても、また同じ母子家庭であっても、A校の生徒の方が家庭の経済条件で見えた場合、恵まれた状況の下にあることが明らかになる。

いうまでもなく、こうした高校生たちの出身階層や家庭の経済条件の違いは、父母の職業のあり方と深く結びついている。

事実、表4のように、父親の場合、A校では42.9%が管理・専門職で、管理・専門職が10%台しか存在しないB、C校と大きく異なっている。しかも、安定的労働者層、不安定労働者層であっても、A校の場合、他の学校の同階層と異なり、専門職が比較的多く存在することも特徴的である。A校以外の安定的労働者層、不安定労働者層で専門職に該当するのは、B校女子の安定的労働者層1ケースと不安定労働者層1ケースにすぎず、B・C校の安定的労働者層、不安定労働者層はブルーカラーが中心となっている。

さらに、父親が専門職のうち教員であるのは、全体で13ケースであるが、B校の女子の2ケースを除く11ケースすべてがA校となっている。C校には教員の子弟はまったく存在しない。しかも、その内訳を見ると、A校の場合、大学の教員が2ケース、高校の教員が4ケース、小中学校の教員が5ケースであるのに対し、B校の教員は2ケースとも小中学校の教員であり、高校や大学の教員の子弟は存在しない。教員の子弟が進学校にシフトした形で存在し、父親のつとめる学校段階があがればあがるほど、その傾向が強くなることが明らかになる。また、対象者のうち父親が医師である者は5人（勤務医2人、開業医3人）いるが、すべてA校生に限られている。逆に、C校女子の場合、農業自営が17.5%と相対的に多くなっている。

ここから、A校の場合、職場の規模に関わりなく、管理職や教員を始めとする専門職が多いこと、逆にB・C校では職場の規模に関わりなく、ブルーカラーが多いこと、さらにC校女子には父親が農業自営の者が相対的に多いことが明らかになる。

一方、母親の場合、いずれの学校でも、パートをはじめとする非正規雇用者（＝「パート他」）が最も

表3 学校別階層別世帯年収

単位：％、万円

		200万 円未満	200万 円～	400万 円～	600万 円～	800万 円～	1000万 円～	1500万 円～	2000万 円～	N	平均	
A	男	安定的経営・管理層	0.0	0.0	0.0	8.3	50.0	27.1	12.5	2.1	48	1117.7
		不安定経営・管理層	0.0	0.0	16.7	16.7	33.3	16.7	10.0	6.7	30	1050.0
		自営業層	0.0	4.5	22.4	23.9	25.4	19.4	3.0	1.5	67	853.0
		安定的労働者層	0.0	3.2	9.5	44.4	19.0	22.2	1.6	0.0	63	845.2
		不安定労働者層	0.0	5.9	35.3	23.5	8.8	20.6	5.9	0.0	34	798.5
	校	小計	0.0	2.9	15.7	25.2	27.3	21.5	5.8	1.7	242	920.3
B	男	安定的経営・管理層	0.0	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	4	750.0
		不安定経営・管理層	0.0	0.0	37.5	0.0	50.0	0.0	12.5	0.0	8	856.3
		自営業層	0.0	12.5	33.3	20.8	12.5	12.5	4.2	4.2	24	795.8
		安定的労働者層	3.3	6.7	23.3	33.3	26.7	6.7	0.0	0.0	30	696.7
		不安定労働者層	0.0	21.7	39.1	26.1	13.0	0.0	0.0	0.0	23	560.9
	校	小計	1.1	11.2	31.5	24.7	22.5	5.6	2.2	1.1	89	705.1
校	女	安定的経営・管理層	0.0	0.0	30.0	10.0	30.0	20.0	10.0	0.0	10	915.0
		不安定経営・管理層	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	6	833.3
		自営業層	2.1	14.6	37.5	20.8	12.5	10.4	0.0	2.1	48	674.0
		安定的労働者層	4.3	10.9	26.1	37.0	17.4	4.3	0.0	0.0	46	637.0
		不安定労働者層	2.3	13.6	45.5	25.0	9.1	4.5	0.0	0.0	44	584.1
	校	小計	2.6	11.7	34.4	26.6	16.2	7.1	0.6	0.6	154	659.1
C	男	安定的経営・管理層	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	3	883.3
		不安定経営・管理層	0.0	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	4	750.0
		自営業層	0.0	19.0	19.0	23.8	19.0	14.3	0.0	4.8	21	788.1
		安定的労働者層	0.0	6.3	25.0	31.3	31.3	6.3	0.0	0.0	16	721.9
		不安定労働者層	6.9	27.6	34.5	20.7	3.4	3.4	0.0	3.4	29	567.2
	校	小計	2.7	17.8	27.4	23.3	17.8	8.2	0.0	2.7	73	687.7
校	女	安定的経営・管理層	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	2	700.0
		不安定経営・管理層	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	3	916.7
		自営業層	9.1	18.2	9.1	18.2	9.1	9.1	9.1	18.2	11	1045.5
		安定的労働者層	0.0	0.0	41.7	41.7	16.7	0.0	0.0	0.0	12	650.0
		不安定労働者層	0.0	11.1	77.8	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	9	561.1
	校	小計	2.7	10.8	37.8	21.6	10.8	5.4	5.4	5.4	37	770.3
階 層	男	安定的経営・管理層	1.8	0.0	3.6	8.9	48.2	25.0	10.7	1.8	56	1060.7
		不安定経営・管理層	0.0	0.0	21.4	14.3	38.1	11.9	9.5	4.8	42	984.5
		自営業層	0.0	8.9	24.1	23.2	21.4	17.0	2.7	2.7	112	828.6
		安定的労働者層	0.9	4.6	15.6	39.4	22.9	15.6	0.9	0.0	109	786.2
		不安定労働者層	2.3	17.4	36.0	23.3	8.1	9.3	2.3	1.2	86	657.0
	女	安定的経営・管理層	0.0	0.0	33.3	8.3	33.3	16.7	8.3	0.0	12	879.2
		不安定経営・管理層	0.0	11.1	0.0	33.3	44.4	0.0	11.1	0.0	9	861.1
		自営業層	3.4	15.3	32.2	20.3	11.9	10.2	1.7	5.1	59	743.2
		安定的労働者層	3.4	8.6	29.3	37.9	17.2	3.4	0.0	0.0	58	639.7
		不安定労働者層	1.9	13.2	50.9	20.8	7.5	5.7	0.0	0.0	53	580.2

注) 世帯年収が不明のケースを除く。以下、各表とも集計対象となる項目が不明のケースを除いてある。

表4 学校別階層別父職業

単位：%

		管理・ 専門職	初任給 -	都市自 営	農業自 営	ブルーカ -	父なし	その他	N		
A	男	安定的経営・管理層	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	49		
		不安定経営・管理層	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33		
		自営業層	4.4	4.4	77.9	7.4	4.4	1.5	68		
		安定的労働者層	15.3	39.0	0.0	0.0	40.7	3.4	59		
		不安定労働者層	29.0	22.6	0.0	0.0	41.9	3.2	31		
	校	小計	42.9	13.8	22.1	2.1	16.7	1.7	0.8	240	
B	男	安定的経営・管理層	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5		
		不安定経営・管理層	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8		
		自営業層	4.0	0.0	84.0	8.0	0.0	4.0	25		
		安定的労働者層	0.0	33.3	0.0	0.0	60.0	0.0	6.7	30	
		不安定労働者層	0.0	10.5	0.0	0.0	78.9	10.5	0.0	19	
	校	小計	16.1	13.8	24.1	2.3	37.9	3.4	2.3	87	
校	女	安定的経営・管理層	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10		
		不安定経営・管理層	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6		
		自営業層	3.7	0.0	85.2	1.9	3.7	5.6	0.0	54	
		安定的労働者層	2.2	23.9	0.0	0.0	63.0	8.7	2.2	46	
		不安定労働者層	2.3	6.8	0.0	0.0	77.3	13.6	0.0	44	
	校	小計	12.5	8.8	28.8	0.6	40.6	8.1	0.6	160	
C	男	安定的経営・管理層	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6		
		不安定経営・管理層	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5		
		自営業層	0.0	0.0	72.7	22.7	4.5	0.0	0.0	22	
		安定的労働者層	0.0	37.5	0.0	0.0	62.5	0.0	0.0	16	
		不安定労働者層	0.0	7.1	0.0	0.0	71.4	17.9	3.6	28	
	校	小計	14.3	10.4	20.8	6.5	40.3	6.5	1.3	77	
校	女	安定的経営・管理層	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2		
		不安定経営・管理層	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	3	
		自営業層	0.0	0.0	46.2	53.8	0.0	0.0	0.0	13	
		安定的労働者層	0.0	8.3	0.0	0.0	91.7	0.0	0.0	12	
		不安定労働者層	0.0	10.0	0.0	0.0	60.0	30.0	0.0	10	
	校	小計	10.0	5.0	15.0	17.5	42.5	10.0	0.0	40	
階	男	安定的経営・管理層	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60		
		不安定経営・管理層	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	46		
		自営業層	3.5	2.6	78.3	10.4	3.5	1.7	0.0	115	
		安定的労働者層	8.6	37.1	0.0	0.0	49.5	1.9	2.9	105	
		不安定労働者層	11.5	14.1	0.0	0.0	61.5	10.3	2.6	78	
	層	女	安定的経営・管理層	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12	
			不安定経営・管理層	88.9	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	9
			自営業層	3.0	0.0	77.6	11.9	3.0	4.5	0.0	67
			安定的労働者層	1.7	20.7	0.0	0.0	69.0	6.9	1.7	58
			不安定労働者層	1.9	7.4	0.0	0.0	72.2	16.7	1.9	54

多くなっている（表5）。しかし、A校では、BC校と比べ、パート他が相対的に少なく、専業主婦と管理・専門職やホワイトカラーが多い。しかも、どの階層にも管理・専門職やホワイトカラーがおり、階層別に見ても他の学校と違う傾向を示している。さらに、教員である母親を持つ高校生は全体で11人（高校教員4ケース、小中学校教員7ケース）いるが、そのすべてがA校の生徒となっている。したがって、母親の職業に関しても、学校間の違いが明確に存在していることがわかる。

表5 学校別階層別母職業

単位：%

		管理・ 専門職	初任給 -	都市自 営	農業自 営	ブルーカ -	パート 他	専業 主婦	母なし	N		
A	男	安定的経営・管理層	10.6	6.4	0.0	0.0	0.0	51.1	31.9	0.0	47	
		不安定経営・管理層	6.1	18.2	0.0	0.0	0.0	42.4	33.3	0.0	33	
		自営業層	4.4	13.2	44.1	8.8	4.4	13.2	11.8	0.0	68	
		安定的労働者層	12.3	10.8	0.0	0.0	7.7	38.5	30.8	0.0	65	
		不安定労働者層	14.7	8.8	0.0	0.0	5.9	44.1	26.5	0.0	34	
	校	小計	9.3	11.3	12.1	2.4	4.0	35.2	25.5	0.0	247	
B	男	安定的経営・管理層	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	20.0	0.0	5	
		不安定経営・管理層	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	12.5	0.0	8	
		自営業層	4.2	8.3	50.0	4.2	0.0	12.5	20.8	0.0	24	
		安定的労働者層	0.0	12.9	0.0	0.0	9.7	71.0	3.2	3.2	31	
		不安定労働者層	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5	50.0	25.0	0.0	24	
	校	小計	2.2	9.8	13.0	1.1	6.5	51.1	15.2	1.1	92	
校	女	安定的経営・管理層	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	40.0	40.0	0.0	10	
		不安定経営・管理層	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	50.0	33.3	0.0	6	
		自営業層	2.0	5.9	54.9	2.0	5.9	15.7	11.8	2.0	51	
		安定的労働者層	2.1	10.6	0.0	0.0	17.0	57.4	12.8	0.0	47	
		不安定労働者層	6.4	6.4	0.0	0.0	17.0	57.4	12.8	0.0	47	
	校	小計	3.1	8.1	18.0	0.6	11.8	42.9	14.9	0.6	161	
C	男	安定的経営・管理層	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	6	
		不安定経営・管理層	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	60.0	20.0	0.0	5	
		自営業層	0.0	0.0	22.7	18.2	13.6	36.4	9.1	0.0	22	
		安定的労働者層	0.0	0.0	0.0	0.0	18.8	43.8	37.5	0.0	16	
		不安定労働者層	3.4	6.9	0.0	0.0	10.3	62.1	13.8	3.4	29	
	校	小計	1.3	3.8	6.4	5.1	11.5	48.7	21.8	1.3	78	
校	女	安定的経営・管理層	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	2	
		不安定経営・管理層	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	3	
		自営業層	0.0	0.0	30.8	38.5	0.0	7.7	15.4	7.7	13	
		安定的労働者層	16.7	0.0	0.0	0.0	25.0	41.7	16.7	0.0	12	
		不安定労働者層	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	44.4	22.2	11.1	9	
	校	小計	10.3	2.6	10.3	12.8	10.3	33.3	15.4	5.1	39	
階	男	安定的経営・管理層	8.6	5.2	0.0	0.0	0.0	51.7	34.5	0.0	58	
		不安定経営・管理層	6.5	15.2	0.0	0.0	0.0	50.0	28.3	0.0	46	
		自営業層	3.5	9.6	41.2	9.6	5.3	17.5	13.2	0.0	114	
		安定的労働者層	7.1	9.8	0.0	0.0	9.8	48.2	24.1	0.9	112	
		不安定労働者層	6.9	9.2	0.0	0.0	8.0	51.7	23.0	1.1	87	
	層	女	安定的経営・管理層	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	50.0	33.3	0.0	12
			不安定経営・管理層	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	44.4	22.2	0.0	9
			自営業層	1.6	4.7	50.0	9.4	4.7	12.5	12.5	3.1	64
			安定的労働者層	3.4	8.5	0.0	0.0	18.6	54.2	15.3	0.0	59
			不安定労働者層	5.4	7.1	0.0	0.0	16.1	55.4	14.3	1.8	56

学校間の相違は、父母の学歴に関しても一貫している。むしろ、父母の学歴、とりわけ父の学歴の方が階層、世帯年収、職業以上に学校差が大きくなっている（表6）。

すなわち、父の学歴を見ると、どの高校も共通して高卒が40～50%台ともっとも多くなっているが、大卒以上の割合は学校間で大きく異なっている。A校では、大卒以上と高卒が41.6%とまったく同数である。これに対し、B校では、大卒は男子生徒の父親7%、女子生徒の父親10.5%にすぎない。C校になると、男子生徒（1.4%）、女子生徒（3.1%）あわせて2名の大卒者がいるのみである。しかも、A校にはB C校にはまったく存在しない大学院卒が11名（4.5%）おり、C校の大卒者を実数、比率ともに上回っている。逆に、父親が中卒の割合を見ると、A校には5.3%しかいないのに対し、B校、C校とも2割を超えている。とくに、C校の男子の場合、26.0%と4分の1を超えており、きわめて特徴的な姿を示している。したがって、父親の学歴水準は、A校がもっとも高く、B校→C校になるにともなって低下していることが明確になる。そのうえ、同一階層を比較してみても、A校とB C校との間で父親の学歴は異なっている。大卒以上の割合はすべての階層でA校がもっとも高く、中卒の割合はもっとも低くなっている。このことは、それだけ、父の学歴の学校差が大きいことを物語っている。

一方、母親の学歴の場合、全体として父より学歴が低く、いずれの学校でも、高卒が過半数になっている。しかし、大卒で見ると、A校が15.3%であるのに対し、B校では3.3%（男子）、0.6%（女子）、C校では大卒の母親は皆無となる。逆に、中卒の母親は、A校には3.2%しかいないが、B校では11.1%（男子）、15.3%（女子）、さらにC校になると28.2%（男子）、20.6%（女子）も存在している。そのため、母親の場合にも、父親と同じように、A校→B校→C校になるにしたがって、学歴水準が低下する姿が浮き彫りになる。しかも、父の学歴と同様、同一階層を比較してみると、大卒の割合はほぼすべての階層でA校がもっとも高く、中卒の割合はすべての階層でA校がもっとも低くなっている。それゆえ、母の学歴は、全体的に父より低い、それ以外は基本的に父の学歴と同じ傾向を示していると思えることができる。

こうして、父母の学歴は、学校間格差と明確に対応していることが明らかになる。

さらに、表7を見ると、生徒たちの居住地に関しても学校間の相違が見出せる。つまり、3校のうちB校が職業科のみで全県から受験が可能であるにもかかわらず、安定的経営・管理層に属する男子生徒を除くすべての階層でO市居住者がもっとも多くなっている。各階層とも、ほぼ6～7割の生徒がO市居住者となっているのである。学区の広さとは対照的に、生徒の居住地は狭い範囲に限定されていることが特徴的である。これに続いて、A校にO市居住者が多く見られる。しかし、O市居住者は、どの階層でもせいぜい5割台にとどまり、全体としても45.6%と半数以下になっている。それにかわって、T市・O町が22.4%と多く、それ以外の地域にも生徒の居住地は幅広く分布している。A校の場合、普通科のみであり、E学区内からの受験者が基本になっていることを考えると、進学校としてのA校が学区内の幅広い地域から生徒を集める力をもっていることが理解できる（一部隣接学区からの受験も可能である）。これに対し、普通科と職業科が併置されているC校では、O市居住者は男女とも1割台である。C校はO市に隣接するN町に存在するが、ほぼどの階層でも、O市居住者は少ない。しかも、C校の場合、立地するN町居住者もそれほど多くなく、むしろ、それ以外の県内市町村（他のD県内市町村）に居住している者が多くなっている。とくに、男子生徒にその傾向が強く、60.2%が他のD県内市町村居住者となっている。C校がいわゆる「底辺校」であることを考えると、近隣市町村の高校に入ることが困難な生徒が幅広い地域からこの学校に集まってきていることがうかがえる。こうして、いずれの階層においても、それぞれの学校の「ランク」に対応して、高校生の居住地が異なっていることが浮き彫りになる。

表6 学校別階層別父母の学歴

単位：%

		父 親							母 親								
		中 学	高 校	専 門	短 大	大 学	大 学 院	N	中 学	高 校	専 門	短 大	大 学	大 学 院	N		
校	A 男	安定的経営・管理層	0.0	26.5	2.0	8.2	49.0	14.3	49	0.0	42.9	8.2	22.4	26.5	0.0	49	
		不安定経営・管理層	0.0	24.2	9.1	12.1	51.5	3.0	33	0.0	63.6	9.1	15.2	12.1	0.0	33	
		自 営 業 層	7.5	53.7	1.5	6.0	31.3	0.0	67	4.5	55.2	14.9	16.4	9.0	0.0	67	
		安定的労働者層	6.5	48.4	4.8	9.7	29.0	1.6	62	4.6	47.7	13.8	18.5	15.4	0.0	65	
		不安定労働者層	12.5	43.8	3.1	3.1	31.3	6.3	32	5.7	60.0	11.4	8.6	14.3	0.0	35	
	小 計	5.3	41.6	3.7	7.8	37.0	4.5	243	3.2	52.6	12.0	16.9	15.3	0.0	249		
	校	B 男	安定的経営・管理層	0.0	60.0	0.0	20.0	20.0	0.0	5	0.0	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0	5
			不安定経営・管理層	25.0	50.0	12.5	0.0	12.5	0.0	8	12.5	75.0	0.0	12.5	0.0	0.0	8
			自 営 業 層	26.1	56.5	13.0	4.3	0.0	0.0	23	8.3	58.3	25.0	4.2	4.2	0.0	24
			安定的労働者層	26.7	53.3	0.0	13.3	6.7	0.0	30	10.0	73.3	6.7	6.7	3.3	0.0	30
不安定労働者層			20.0	55.0	0.0	15.0	10.0	0.0	20	17.4	73.9	4.3	0.0	4.3	0.0	23	
小 計		23.3	54.7	4.7	10.5	7.0	0.0	86	11.1	68.9	11.1	5.6	3.3	0.0	90		
校 女		安定的経営・管理層	0.0	60.0	0.0	10.0	30.0	0.0	10	10.0	60.0	20.0	10.0	0.0	0.0	10	
		不安定経営・管理層	16.7	16.7	16.7	33.3	16.7	0.0	6	0.0	50.0	16.7	16.7	0.0	0.0	6	
		自 営 業 層	27.1	52.1	12.5	2.1	6.3	0.0	48	16.0	60.0	22.0	2.0	0.0	0.0	50	
		安定的労働者層	19.0	69.0	2.4	2.4	7.1	0.0	42	21.3	68.1	6.4	4.3	0.0	0.0	47	
	不安定労働者層	35.1	43.2	8.1	0.0	13.5	0.0	37	11.4	65.9	20.5	2.3	0.0	0.0	44		
小 計	24.5	53.8	7.7	3.5	10.5	0.0	143	15.3	63.7	16.6	3.8	0.6	0.0	157			
階	男	安定的経営・管理層	0.0	83.3	0.0	0.0	16.7	0.0	6	0.0	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0	6	
		不安定経営・管理層	0.0	80.0	0.0	20.0	0.0	0.0	5	20.0	60.0	0.0	20.0	0.0	0.0	5	
		自 営 業 層	25.0	60.0	15.0	0.0	0.0	0.0	20	23.8	57.1	14.3	4.8	0.0	0.0	21	
		安定的労働者層	43.8	37.5	6.3	12.5	0.0	0.0	16	50.0	37.5	12.5	0.0	0.0	0.0	16	
		不安定労働者層	26.9	61.5	3.8	7.7	0.0	0.0	26	26.7	66.7	6.7	0.0	0.0	0.0	30	
	小 計	26.0	58.9	6.8	6.8	1.4	0.0	73	28.2	59.0	10.3	2.6	0.0	0.0	78		
	校 女	安定的経営・管理層	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	2	
		不安定経営・管理層	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	3	
		自 営 業 層	20.0	70.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10	44.4	55.6	0.0	0.0	0.0	0.0	9	
		安定的労働者層	27.3	54.5	9.1	9.1	0.0	0.0	11	9.1	54.5	27.3	9.1	0.0	0.0	11	
不安定労働者層		28.6	42.9	0.0	28.6	0.0	0.0	7	11.1	66.7	0.0	22.2	0.0	0.0	9		
小 計	21.9	59.4	6.3	9.4	3.1	0.0	32	20.6	55.9	14.7	8.8	0.0	0.0	34			
層	男	安定的経営・管理層	0.0	35.0	1.7	8.3	43.3	11.7	60	0.0	48.3	10.0	20.0	21.7	0.0	60	
		不安定経営・管理層	4.3	34.8	8.7	10.9	39.1	2.2	46	4.3	65.2	6.5	15.2	8.7	0.0	46	
		自 営 業 層	14.5	55.5	6.4	4.5	19.1	0.0	110	8.9	56.3	17.0	11.6	6.3	0.0	112	
		安定的労働者層	17.6	48.1	3.7	11.1	18.5	0.9	108	12.6	53.2	11.7	12.6	9.9	0.0	111	
		不安定労働者層	19.2	52.6	2.6	7.7	15.4	2.6	78	15.9	65.9	8.0	3.4	6.8	0.0	88	
	校 女	安定的経営・管理層	0.0	58.3	0.0	8.3	33.3	0.0	12	8.3	50.0	33.3	8.3	0.0	0.0	12	
		不安定経営・管理層	12.5	37.5	12.5	25.0	12.5	0.0	8	11.1	55.6	11.1	11.1	11.1	0.0	9	
		自 営 業 層	25.9	55.2	12.1	1.7	5.2	0.0	58	20.3	59.3	18.6	1.7	0.0	0.0	59	
		安定的労働者層	20.8	66.0	3.8	3.8	5.7	0.0	53	19.0	65.5	10.3	5.2	0.0	0.0	58	
		不安定労働者層	34.1	43.2	6.8	4.5	11.4	0.0	44	11.3	66.0	17.0	5.7	0.0	0.0	53	

表7 学校別階層別居住地

単位：%

		O市	O町	K市	N町 OJ町	T市他 T地区 町村	D県内 他市町 村	A市	N	
A	男	安定的経営・管理層	57.1	10.2	4.1	6.1	16.3	6.1	0.0	49
		不安定経営・管理層	36.4	9.1	9.1	3.0	27.3	15.2	0.0	33
		自営業層	42.6	5.9	4.4	8.8	22.1	16.2	0.0	68
		安定的労働者層	40.0	10.8	7.7	7.7	26.2	7.7	0.0	65
		不安定労働者層	54.3	2.9	0.0	11.4	20.0	11.4	0.0	35
	小計	45.6	8.0	5.2	7.6	22.4	11.2	0.0	250	
B	男	安定的経営・管理層	40.0	0.0	0.0	20.0	40.0	0.0	0.0	5
		不安定経営・管理層	75.0	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	8
		自営業層	76.0	0.0	0.0	8.0	8.0	8.0	0.0	25
		安定的労働者層	65.5	3.4	0.0	17.2	10.3	3.4	0.0	29
		不安定労働者層	62.5	12.5	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	24
	小計	67.0	4.4	0.0	13.2	12.1	3.3	0.0	91	
校女	女	安定的経営・管理層	70.0	10.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	10
		不安定経営・管理層	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	6
		自営業層	57.4	13.0	0.0	18.5	1.9	7.4	1.9	54
		安定的労働者層	82.6	4.3	0.0	13.0	0.0	0.0	0.0	46
		不安定労働者層	76.1	8.7	0.0	13.0	2.2	0.0	0.0	46
	小計	71.0	8.6	0.0	13.6	3.7	2.5	0.6	162	
C	男	安定的経営・管理層	33.3	0.0	0.0	50.0	0.0	16.7	0.0	6
		不安定経営・管理層	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	0.0	5
		自営業層	0.0	0.0	4.5	27.3	0.0	68.2	0.0	22
		安定的労働者層	23.5	0.0	0.0	35.3	0.0	41.2	0.0	17
		不安定労働者層	12.1	0.0	0.0	12.1	6.1	69.7	0.0	33
	小計	13.3	0.0	1.2	22.9	2.4	60.2	0.0	83	
校女	女	安定的経営・管理層	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	2
		不安定経営・管理層	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	3
		自営業層	7.7	0.0	0.0	38.5	0.0	53.8	0.0	13
		安定的労働者層	8.3	0.0	0.0	25.0	0.0	66.7	0.0	12
		不安定労働者層	10.0	0.0	0.0	60.0	0.0	30.0	0.0	10
	小計	12.5	0.0	0.0	40.0	0.0	47.5	0.0	40	
階層	男	安定的経営・管理層	53.3	8.3	3.3	11.7	16.7	6.7	0.0	60
		不安定経営・管理層	41.3	6.5	6.5	4.3	21.7	19.6	0.0	46
		自営業層	41.7	3.5	3.5	12.2	14.8	24.3	0.0	115
		安定的労働者層	44.1	7.2	4.5	14.4	18.0	11.7	0.0	111
		不安定労働者層	41.3	4.3	0.0	12.0	13.0	29.3	0.0	92
	女	安定的経営・管理層	66.7	8.3	0.0	8.3	16.7	0.0	0.0	12
		不安定経営・管理層	55.6	0.0	0.0	11.1	22.2	11.1	0.0	9
		自営業層	47.8	10.4	0.0	22.4	1.5	16.4	1.5	67
		安定的労働者層	67.2	3.4	0.0	15.5	0.0	13.8	0.0	58
		不安定労働者層	64.3	7.1	0.0	21.4	1.8	5.4	0.0	56

第2節 高校生の小中学校時代の生活

対象となった高校生たちの小中学校時代の生活をみると、彼らの社会経済的背景と同様、明らかに学校間に大きな違いが存在する。

まず、高校生たちの中学校時代の成績についてみてみよう。表8は、この点を明らかにするため、中学校時代の成績に関する自己評価をたずねた結果である。

ここから、A校の生徒はいずれの階層であっても、ほぼ6割が「良い」成績であったとし、「やや良い」を含めると実に9割に達していることがわかる。面接調査の対象となったA校生自身、「(成績が)良くないとA校には入れない」(A男・安定的労働者)、「3年前に公立校に推薦制度が導入され、A高校に50人の枠。中学から1人だけ合格した」(A男・不安定経営・管理)、「中学校で1番の成績だった」(A男・自営業)、「中学時代の成績は良かった。5教科は5、家庭科3、体育3」(A男・不安定経営・管理)、「成績良かった。理科5・数学5・英語4か3・国語4か3」(A男・不安定労働者)と、中学校時代の成績の良さを強調している。

これに対し、B校になると、男女、階層の違いなく、「良い」と答える者がほとんどなく、「やや良い」を加えても、せいぜい1割台にとどまっている。それにかわって、「中ぐらい」と答える生徒が多くなる(男=51.6%、女=76.2%)。「ここ来るくらいだから、中ぐらい。本当はレベル的に上の学校に行きたかったけれど、自分の頭の限界でここに来た。三者面談でも言われた」(B男・自営業)、「中ぐらい。中3の時に志望校に入れられないかも知れないと三者面談で先生に言われた」(B男・安定的労働者)、「中ぐらい。高校受験時、校内推薦で商業科落ちて先生むかつくから見返してやると思って頑張った。実力で情報処理科に入った」(B女・自営業)という表現に、「中ぐらい」の成績のゆえに、B校に「振り分けられる」姿が典型的に映し出されている。

さらに、C校では、「良い」と答えた不安定労働者層出身の女子生徒1人を除いて、「良い」、「やや良い」と答えた生徒は皆無となり、「やや悪い」、「悪い」が性別、階層と関係なく主流になる。ちなみに、C校の男子のうち78.1%、女子の67.5%が「やや悪い」、「悪い」と答えている。実際、C校生自身、「中学の時の成績悪かった。勉強しても成績が上がらなかった。先輩に注意された」(C女・安定的労働者)、「やや悪い。他の学校に行きたかった。他の私立も合格。通うのが近いということでここになった」(C女・自営業)、「悪い。好きなのは音楽、嫌いなのは数学、理科、社会、英語など」(C女・不安定労働者)、「悪い。下がる一方。小学校の時はまあまあ普通。入試前まではB校に行きたかったけど諦めた」(C女・安定的経営・管理)、「悪い。自信がある。私立Q高に行きたかった」(C男・安定的経営・管理)、「やや悪かった。数学の計算と体育の球技・水泳だけは得意」(C男・不安定労働者)と、中学時代の成績の悪さについて説明している。

こうして、明らかに、メリトクラティックな振り分けによって高校のヒエラルヒー構造が成立していることが浮き彫りになる。

一方、中学校時代の成績の違いは、階層間にも明確に見出される。高校の違いを無視して階層だけを軸にしてみると、男子の場合、「良い」+「やや良い」が安定的経営・管理層(77.9%)→不安定経営・管理層(68.9%)→自営業層(62.6%)→安定的労働者層(59.8%)→不安定労働者層(38.5%)の順に少なくなる傾向が見事に示されている。とくに、トップの安定的経営・管理層とボトムの不安定労働者層の間には2倍以上の差が存在している(女子生徒の場合、トップクラスの女子校が対象となっていないため、いずれの階層も全体として成績が悪くなっている)。

したがって、高校生たちの中学校時代の成績に関する高校間格差は、一方で全体として成績のよい階層の子弟が上位校に偏り、他方で同じ階層の中でも良い生徒が上位校に集中することによってもたらされたといえる。

もちろん、こうした中学時代の成績の違いの背後に、小中学校時代に塾や習い事に通っていたかどうかがある程度関係していることはいうまでもない。しかし、成績と塾や習い事へ通っていたことがストレートに結びついているわけではなく、複雑な形で両者が結びついているのが現実である。

表8 学校別階層別中学校時代の成績

単位：%

		良	い	や	や	中	や	や	悪	N
		い		い			い			
		良		良			悪			
A	男	安定的経営・管理層	64.6	31.3	4.2	0.0	0.0			48
		不安定経営・管理層	59.4	34.4	6.3	0.0	0.0			32
		自営業層	63.2	33.8	2.9	0.0	0.0			68
		安定的労働者層	62.5	32.8	3.1	0.0	1.6			64
		不安定労働者層	57.1	31.4	5.7	2.9	2.9			35
校	小計	61.9	32.8	4.0	0.4	0.8			247	
B	男	安定的経営・管理層	0.0	0.0	60.0	20.0	20.0			5
		不安定経営・管理層	0.0	12.5	62.5	25.0	0.0			8
		自営業層	0.0	24.0	40.0	36.0	0.0			25
		安定的労働者層	3.2	16.1	48.4	29.0	3.2			31
		不安定労働者層	0.0	16.7	62.5	12.5	8.3			24
校	小計	1.1	17.2	51.6	25.8	4.3			93	
校	女	安定的経営・管理層	0.0	10.0	90.0	0.0	0.0			10
		不安定経営・管理層	0.0	0.0	66.7	16.7	16.7			6
		自営業層	0.0	9.3	72.2	14.8	3.7			54
		安定的労働者層	0.0	12.8	76.6	8.5	2.1			47
		不安定労働者層	0.0	10.6	78.7	10.6	0.0			47
校	小計	0.0	10.4	76.2	11.0	2.4			164	
C	男	安定的経営・管理層	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0			6
		不安定経営・管理層	0.0	0.0	20.0	40.0	40.0			5
		自営業層	0.0	0.0	36.4	31.8	31.8			22
		安定的労働者層	0.0	0.0	23.5	29.4	47.1			17
		不安定労働者層	0.0	0.0	15.6	56.3	28.1			32
校	小計	0.0	0.0	22.0	42.7	35.4			82	
校	女	安定的経営・管理層	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0			2
		不安定経営・管理層	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7			3
		自営業層	0.0	0.0	46.2	23.1	30.8			13
		安定的労働者層	0.0	0.0	33.3	25.0	41.7			12
		不安定労働者層	10.0	0.0	10.0	30.0	50.0			10
校	小計	2.5	0.0	30.0	22.5	45.0			40	
階	男	安定的経営・管理層	52.5	25.4	8.5	6.8	6.8			59
		不安定経営・管理層	42.2	26.7	17.8	8.9	4.4			45
		自営業層	37.4	25.2	17.4	13.9	6.1			115
		安定的労働者層	36.6	23.2	18.8	12.5	8.9			112
		不安定労働者層	22.0	16.5	24.2	24.2	13.2			91
階	女	安定的経営・管理層	0.0	8.3	75.0	0.0	16.7		12	
	不安定経営・管理層	0.0	0.0	55.6	11.1	33.3			9	
	自営業層	0.0	7.5	67.2	16.4	9.0			67	
	安定的労働者層	0.0	10.2	67.8	11.9	10.2			59	
	不安定労働者層	1.8	8.8	66.7	14.0	8.8			57	

実際、表9の如く、塾へ通っていたかどうかは、少なくともA校とB校の生徒の間にそれほど大きな違いはみられない。A校の生徒の通塾率は88.8%、B校では男子=83.5%、女子=86.6%で、通塾の間も、A校ともに、小学校高学年ないし中1から中3が多い。しかも、これらの点に階層間の違いは見られない。

ただし、誰に勧められて塾へ通うようになったのかを見ると、A校とB校に違いが生じてくる(表10)。たとえば、A校の生徒の場合、母親に勧められて塾へ通っていた者が過半数(51.2%)で、自分の意志で塾へ通っていた者(35.0%)よりも多い。しかも、父親に勧められた者も2割弱(17.5%)存在している。それは、「小学校時代から現在まで、いろいろ変えながら塾を続けている。公文とか個人でやってる塾など。主に父と母が勧めた。父は『優秀な子になれ』といていた」(A男・安定的経営・管理)、「小5～中3まで塾へ通っていた。母親と一緒にいったのが最初だった」(A男・不安定経営・管理)、「塾からはがきが来て、母親が申し込んだ。中学入学と同時くらい。中3まで続けた」(A男・自営業)、「小6～中3(小6-英、中1-英・数・国)。自分の意志。英語は、親からも勧められ、自分でも英語をしておいた方がよいと思った。友達も行ってたから」(A男・安定的経営・管理)という生徒たちの言葉に端的に示されている。

これに対し、B校生では、自分の意志で塾へ通っていた者の割合はA校生と変わらないが(男子=35.6%、女子=39.6%)、母親に勧められて塾へ通っていた者がA校生よりも少なくなっている(男子=39.7%、女子=38.1%)。また、父親に勧められた者も男子で11.0%、女子で5.0%しかない。なかには、「中1～3まで3つ行った。自分で選んだら中2になる時に塾が潰れて。その後、親に行かされたところがイヤなところでやめた。少ししてまた自分で選んだ。結局、母に勧められたのが1回、自分の意志で行ったのが2回」(B男・不安定経営・管理)というように、親に勧められたところが気に入らず、自分の意志で塾を変えた者もいる。

したがって、A校生とB校生の場合、小中学時代の通塾率、通塾期間に違いはないが、おもに父母が通塾を勧めたかどうかという点で異なる特徴が見られる。ただし、A校生の場合、面接調査で見ると、父母の勧めによって塾を始めたとしても、それに反発する姿は見出せなかった。むしろ、父母の勧めを「素直に」受けとめていたように見受けられる。そう考えると、むしろ、B校生の親は、A校生の親ほど塾に対して熱心でないことを示していると考えられる。その背後に、階層間に塾に対する考え方の違いが存在していると考えられる。実際、通塾を勧める親は、A校B校とも、安定的経営・管理層、不安定経営・管理層の父母が多く、この2つの階層がB校よりA校に多いことがこうした両校の違いをもたらしたといえる。

これに対し、C校の生徒になると、塾へ通っていた者は男子で60.7%、女子で70.0%と相対的に少なく、自分の意志で塾へ通っていた者も少なくなる(男子:18.0%、女子:26.9%)。この点で、A校生、B校生とは異なっている。しかし、母親に勧められて塾へ通っていた者の割合は、A校生と同様、過半数に達し、男子で54.0%、女子で53.8%になっている。また、男子に限って見れば、父親に勧められた者もA校生と同じく2割弱(18.0%)存在している。ただし、その内実はA校生と異なり、安定的経営・管理層、不安定経営・管理層の親をもつ生徒が親に勧められる場合が多いとは限らない。とくに男子の場合、むしろ、これらの階層以外の母親の方が通塾を勧める傾向が強くなっている。また、「塾へは通っていない。親は行かせたかった」(C女・不安定労働者)、「自分は行きたくなかったが、父親が勧めたので、中1の時に塾へ入った。現在も続けているけど、学校の方が楽しい」(C男・安定的経営・管理)、「母の勧めで、小6～中2まで塾へ行った。だけど、塾の宿題がつらくやめた」(C男・不安定経営・管理)などのように、親に勧められても塾へ通わなかったり、しぶしぶ通うか、親の勧めで入った塾をやめてしまう者も少なくないと思われる。その意味で、C校生の場合、A校生、B校生と比べ、塾に対して消極的な傾向が明らかになる。

一方、表11から習い事に通っていた者についてみると、少なくとも男子の場合のみ、学校間の違いが明確になる。A校の場合、84.3%の生徒が小中学校時代に習い事を行っていたのに対し、B校の男子では65.9%、C校の男子では52.4%となっている。しかも、習い事の内容を見ると(表12)、A校の場合、

表9 学校別階層別小中学校時代の通塾の有無

単位：%

		実 数			構 成 比				
		い	た	い	ない	合	計		
A	男	安定的経営・管理層	42	7	49	85.7	14.3	100.0	
		不安定経営・管理層	30	3	33	90.9	9.1	100.0	
		自営業層	62	6	68	91.2	8.8	100.0	
		安定的労働者層	58	7	65	89.2	10.8	100.0	
		不安定労働者層	30	5	35	85.7	14.3	100.0	
	校	小	計	222	28	250	88.8	11.2	100.0
B	男	安定的経営・管理層	4	1	5	80.0	20.0	100.0	
		不安定経営・管理層	8	0	8	100.0	0.0	100.0	
		自営業層	22	3	25	88.0	12.0	100.0	
		安定的労働者層	25	5	30	83.3	16.7	100.0	
		不安定労働者層	17	6	23	73.9	26.1	100.0	
	校	小	計	76	15	91	83.5	16.5	100.0
校	女	安定的経営・管理層	9	1	10	90.0	10.0	100.0	
		不安定経営・管理層	5	1	6	83.3	16.7	100.0	
		自営業層	50	4	54	92.6	7.4	100.0	
		安定的労働者層	38	9	47	80.9	19.1	100.0	
		不安定労働者層	40	7	47	85.1	14.9	100.0	
	校	小	計	142	22	164	86.6	13.4	100.0
C	男	安定的経営・管理層	4	2	6	66.7	33.3	100.0	
		不安定経営・管理層	3	2	5	60.0	40.0	100.0	
		自営業層	14	8	22	63.6	36.4	100.0	
		安定的労働者層	11	6	17	64.7	35.3	100.0	
		不安定労働者層	19	15	34	55.9	44.1	100.0	
	校	小	計	51	33	84	60.7	39.3	100.0
校	女	安定的経営・管理層	2	0	2	100.0	0.0	100.0	
		不安定経営・管理層	3	0	3	100.0	0.0	100.0	
		自営業層	9	4	13	69.2	30.8	100.0	
		安定的労働者層	9	3	12	75.0	25.0	100.0	
		不安定労働者層	5	5	10	50.0	50.0	100.0	
	校	小	計	28	12	40	70.0	30.0	100.0
階	男	安定的経営・管理層	50	10	60	83.3	16.7	100.0	
		不安定経営・管理層	41	5	46	89.1	10.9	100.0	
		自営業層	98	17	115	85.2	14.8	100.0	
		安定的労働者層	94	18	112	83.9	16.1	100.0	
		不安定労働者層	66	26	92	71.7	28.3	100.0	
	層	女	安定的経営・管理層	11	1	12	91.7	8.3	100.0
			不安定経営・管理層	8	1	9	88.9	11.1	100.0
			自営業層	59	8	67	88.1	11.9	100.0
			安定的労働者層	47	12	59	79.7	20.3	100.0
			不安定労働者層	45	12	57	78.9	21.1	100.0

表10 学校別階層別小中学校時代の通塾を勧めた人

単位：％

		父 親	母 親	兄 弟 姉 妹	祖父母	学校の 友 人	学校以 外の友 先 生	学校の 先 生	自分で	その他	N		
A	男	安定的経営・管理層	21.4	57.1	4.8	0.0	7.1	0.0	0.0	31.0	0.0	42	
		不安定経営・管理層	24.1	62.1	3.4	0.0	10.3	0.0	0.0	31.0	0.0	29	
		自 営 業 層	14.5	48.4	3.2	1.6	9.7	0.0	0.0	38.7	0.0	62	
		安定的労働者層	16.1	46.4	3.6	3.6	14.3	1.8	1.8	35.7	0.0	56	
		不安定労働者層	14.3	46.4	0.0	0.0	17.9	0.0	0.0	35.7	0.0	28	
	校	小 計	17.5	51.2	3.2	1.4	11.5	0.5	0.5	35.0	0.0	217	
B	男	安定的経営・管理層	25.0	50.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	4	
		不安定経営・管理層	14.3	71.4	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	7	
		自 営 業 層	4.8	33.3	4.8	0.0	28.6	0.0	0.0	38.1	0.0	21	
		安定的労働者層	8.0	36.0	4.0	0.0	20.0	0.0	0.0	44.0	4.0	25	
		不安定労働者層	18.8	37.5	0.0	0.0	12.5	6.3	0.0	31.3	6.3	16	
	校	小 計	11.0	39.7	5.5	0.0	20.5	1.4	0.0	35.6	2.7	73	
校	女	安定的経営・管理層	11.1	44.4	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	33.3	0.0	9	
		不安定経営・管理層	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0	0.0	4	
		自 営 業 層	8.0	38.0	2.0	2.0	26.0	0.0	0.0	34.0	4.0	50	
		安定的労働者層	2.8	38.9	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0	38.9	2.8	36	
		不安定労働者層	2.5	35.0	2.5	0.0	22.5	0.0	0.0	47.5	0.0	40	
	校	小 計	5.0	38.1	2.2	0.7	23.0	0.0	0.0	39.6	2.2	139	
C	男	安定的経営・管理層	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	4	
		不安定経営・管理層	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	3	
		自 営 業 層	15.4	53.8	7.7	0.0	38.5	0.0	0.0	0.0	0.0	13	
		安定的労働者層	20.0	60.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	30.0	0.0	10	
		不安定労働者層	20.0	60.0	0.0	0.0	10.0	0.0	5.0	20.0	0.0	20	
	校	小 計	18.0	54.0	2.0	0.0	22.0	0.0	2.0	18.0	0.0	50	
校	女	安定的経営・管理層	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	2	
		不安定経営・管理層	0.0	100.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	3	
		自 営 業 層	0.0	44.4	0.0	0.0	55.6	0.0	0.0	0.0	0.0	9	
		安定的労働者層	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	62.5	0.0	8	
		不安定労働者層	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	4	
	校	小 計	7.7	53.8	0.0	0.0	30.8	0.0	0.0	26.9	0.0	26	
階	男	安定的経営・管理層	22.0	54.0	6.0	0.0	10.0	0.0	0.0	30.0	0.0	50	
		不安定経営・管理層	20.5	61.5	5.1	0.0	12.8	0.0	0.0	28.2	0.0	39	
		自 営 業 層	12.5	45.8	4.2	1.0	17.7	0.0	0.0	33.3	0.0	96	
		安定的労働者層	14.3	45.1	3.3	2.2	16.5	1.1	1.1	37.4	1.1	91	
		不安定労働者層	17.2	48.4	0.0	0.0	14.1	1.6	1.6	29.7	1.6	64	
	層	女	安定的経営・管理層	9.1	54.5	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	36.4	0.0	11
			不安定経営・管理層	0.0	71.4	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	28.6	0.0	7
			自 営 業 層	6.8	39.0	1.7	1.7	30.5	0.0	0.0	28.8	3.4	59
			安定的労働者層	6.8	40.9	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	43.2	2.3	44
			不安定労働者層	2.3	34.1	2.3	0.0	25.0	0.0	0.0	45.5	0.0	44

表11 学校別階層別習い事経験の有無

単位：%

		実 数			構 成 比			
		あ	り	な	し	合	計	
A	男	安定的経営・管理層	43	6	49	87.8	12.2	100.0
		不安定経営・管理層	24	8	32	75.0	25.0	100.0
		自 営 業 層	61	7	68	89.7	10.3	100.0
		安定的労働者層	53	12	65	81.5	18.5	100.0
		不安定労働者層	29	6	35	82.9	17.1	100.0
	校	小	計	210	39	249	84.3	15.7
B	男	安定的経営・管理層	3	2	5	60.0	40.0	100.0
		不安定経営・管理層	6	2	8	75.0	25.0	100.0
		自 営 業 層	14	9	23	60.9	39.1	100.0
		安定的労働者層	19	11	30	63.3	36.7	100.0
		不安定労働者層	16	6	22	72.7	27.3	100.0
	校	小	計	58	30	88	65.9	34.1
校	女	安定的経営・管理層	9	1	10	90.0	10.0	100.0
		不安定経営・管理層	6	0	6	100.0	0.0	100.0
		自 営 業 層	44	10	54	81.5	18.5	100.0
		安定的労働者層	41	6	47	87.2	12.8	100.0
		不安定労働者層	37	10	47	78.7	21.3	100.0
	校	小	計	137	27	164	83.5	16.5
C	男	安定的経営・管理層	4	2	6	66.7	33.3	100.0
		不安定経営・管理層	2	3	5	40.0	60.0	100.0
		自 営 業 層	16	5	21	76.2	23.8	100.0
		安定的労働者層	7	9	16	43.8	56.3	100.0
		不安定労働者層	14	20	34	41.2	58.8	100.0
	校	小	計	43	39	82	52.4	47.6
校	女	安定的経営・管理層	2	0	2	100.0	0.0	100.0
		不安定経営・管理層	3	0	3	100.0	0.0	100.0
		自 営 業 層	9	4	13	69.2	30.8	100.0
		安定的労働者層	10	2	12	83.3	16.7	100.0
		不安定労働者層	7	3	10	70.0	30.0	100.0
	校	小	計	31	9	40	77.5	22.5
階	男	安定的経営・管理層	50	10	60	83.3	16.7	100.0
		不安定経営・管理層	32	13	45	71.1	28.9	100.0
		自 営 業 層	91	21	112	81.3	18.8	100.0
		安定的労働者層	79	32	111	71.2	28.8	100.0
		不安定労働者層	59	32	91	64.8	35.2	100.0
	層	女	安定的経営・管理層	11	1	12	91.7	8.3
不安定経営・管理層	9	0	9	100.0	0.0	100.0		
自 営 業 層	53	14	67	79.1	20.9	100.0		
安定的労働者層	51	8	59	86.4	13.6	100.0		
不安定労働者層	44	13	57	77.2	22.8	100.0		

表12 学校別階層別習い事の種類

単位：%

		ピアノ・ エレクトーン	珠 算	書 道	剣 道 柔 道	水 泳	他のス ポーツ	他の音 楽関係	英 語	公文式	絵 画	その他	N	M.T 計	
A	男	安定的経営・管理層	32.6	30.2	51.2	7.0	60.5	2.3	0.0	2.3	0.0	4.7	0.0	43	190.7
		不安定経営・管理層	33.3	33.3	66.7	4.2	70.8	12.5	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	24	225.0
		自 営 業 層	27.9	62.3	50.8	13.1	45.9	8.2	1.6	4.9	3.3	0.0	0.0	61	218.0
		安定的労働者層	34.6	55.8	44.2	9.6	46.2	7.7	0.0	5.8	1.9	3.8	0.0	52	209.6
		不安定労働者層	24.1	62.1	44.8	13.8	51.7	10.3	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	29	210.3
校	小 計	30.6	50.7	50.2	10.0	52.6	7.7	0.5	3.3	1.4	2.9	0.0	209	210.0	
B	男	安定的経営・管理層	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2	100.0
		不安定経営・管理層	0.0	50.0	50.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6	166.7
		自 営 業 層	0.0	64.3	35.7	14.3	28.6	7.1	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	14	164.3
		安定的労働者層	0.0	63.2	36.8	5.3	26.3	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	19	136.8
		不安定労働者層	6.3	68.8	12.5	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	16	131.3
校	小 計	1.8	64.9	29.8	8.8	22.8	10.5	0.0	3.5	0.0	0.0	1.8	57	143.9	
校	女	安定的経営・管理層	77.8	55.6	66.7	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9	222.2
		不安定経営・管理層	50.0	50.0	16.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	6	166.7
		自 営 業 層	47.7	75.0	52.3	6.8	13.6	6.8	0.0	4.5	2.3	0.0	0.0	44	209.1
		安定的労働者層	51.2	56.1	41.5	0.0	19.5	2.4	4.9	12.2	7.3	0.0	0.0	41	195.1
		不安定労働者層	55.6	66.7	33.3	2.8	36.1	5.6	5.6	2.8	0.0	0.0	0.0	36	208.3
校	小 計	52.9	64.7	43.4	2.9	22.8	4.4	2.9	5.9	3.7	0.0	0.0	136	203.7	
C	男	安定的経営・管理層	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	4	125.0
		不安定経営・管理層	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2	150.0
		自 営 業 層	6.3	37.5	62.5	18.8	0.0	6.3	0.0	6.3	6.3	0.0	0.0	16	143.8
		安定的労働者層	14.3	28.6	42.9	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	7	157.1
		不安定労働者層	7.1	71.4	57.1	7.1	28.6	14.3	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	14	192.9
校	小 計	7.0	46.5	51.2	11.6	14.0	14.0	0.0	7.0	7.0	0.0	2.3	43	160.5	
校	女	安定的経営・管理層	50.0	50.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	2	350.0
		不安定経営・管理層	33.3	100.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3	166.7
		自 営 業 層	44.4	77.8	22.2	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	9	166.7
		安定的労働者層	20.0	50.0	50.0	0.0	40.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10	170.0
		不安定労働者層	42.9	71.4	57.1	14.3	14.3	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	7	228.6
校	小 計	35.5	67.7	41.9	6.5	25.8	3.2	3.2	3.2	6.5	0.0	0.0	31	193.5	
階	男	安定的経営・管理層	28.6	32.7	46.9	6.1	53.1	4.1	0.0	4.1	2.0	4.1	0.0	49	125.0
		不安定経営・管理層	25.0	37.5	59.4	3.1	62.5	18.8	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	32	150.0
		自 営 業 層	19.8	58.2	50.5	14.3	35.2	7.7	1.1	6.6	3.3	0.0	0.0	91	143.8
		安定的労働者層	24.4	55.1	42.3	9.0	38.5	7.7	0.0	3.8	2.6	2.6	1.3	78	157.1
		不安定労働者層	15.3	66.1	39.0	11.9	35.6	11.9	0.0	1.7	0.0	1.7	1.7	59	192.9
層	女	安定的経営・管理層	72.7	54.5	72.7	9.1	27.3	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	11	350.0
		不安定経営・管理層	44.4	66.7	11.1	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	9	166.7
		自 営 業 層	47.2	75.5	47.2	5.7	13.2	5.7	1.9	3.8	1.9	0.0	0.0	53	166.7
		安定的労働者層	45.1	54.9	43.1	0.0	23.5	3.9	3.9	9.8	5.9	0.0	0.0	51	170.0
		不安定労働者層	53.5	67.4	37.2	4.7	32.6	4.7	4.7	4.7	2.3	0.0	0.0	43	228.6

珠算、書道、水泳に過半数、ピアノ・エレクトーンに3割の生徒が通っていたが、B校の男子では、過半数の生徒が通っていたのは珠算のみで、書道がほぼ3割、C校の男子では書道と珠算がほぼ半数という形になっている。そこでは、A校生の水泳とピアノ・エレクトーンが特徴的である。しかも、A校生は、平均で2.1種類の習い事を行っており、一人当たりの習い事の種類が各校の生徒の中でもっとも多くなっている。なかには、「ピアノ（保育園～小6）、絵画（保育園～小3）、書道（小1～6）、剣道（保育園～小6）、珠算（小2～5）」（A男・安定的経営・管理）のように、保育園の頃から中学に入るまで、長期間にわたって、5つの習い事に通っていた者もいる。しかも、彼は小学校の高学年から中学時代にかけて、新たに「ボーイスカウト（小5～中3）、塾（中1～中3）」に通い始めている。こうした事実は、A校生の場合、できるだけ幅広く基礎的な「能力」を身につけることが、主要教科だけでなく、多くの教科で成績を向上させることにつながっている姿を示唆している。もちろん、その背後に、多くの習い事に通うことを可能にする、経済的に恵まれた階層の子弟がA校生に多いという現実が存在することも忘れてはならない。

したがって、小中学校時代の塾や習い事の経験は、このような形で、中学校時代の成績と「ある程度」結びついていると考えることができる。

しかも、高校生たちの場合、中学校時代の成績だけではなく、表13、表14のように、小中学校時代の役職経験者の割合も学校間で大きく異なっている。A校生の場合、8割が小中学校時代に学級委員長をはじめとする何らかの役職を経験している。これに対し、B校ではその割合は約5割（男=55.4%、女=50.3%）、C校では2割台（男=25.9%、女=23.1%）になっている。一方、階層別に見ると、女子の場合、明確な差は見られないが、男子の場合、①安定的管理・経営層と不安定管理・経営層、②自営業層と安定的労働者層、③不安定労働者層の三つのグループの間に明確な違いがあることがわかる。①の階層は7割台の子弟が小中学校時代に役職についているが、②の階層は6割台、③の階層になると、4割台までその割合が低下している。しかし、学校ごとに階層間を比較してみると、多少の階層差が存在する（A校における不安定労働者層が他の階層より役職経験者が少なく、B校、C校の男子の場合、安定的経営・管理層の子弟に役職経験者が多い）ものの、それ以外には明確な相違は見られなくなる。

したがって、小中学校時代の役職経験に関しては、どちらかという階層差よりも、それを越えた学校間の違いの方が明確であることがわかる。逆にいえば、たしかに出身階層によってある程度の差はあるものの、小中学校時代に役職を経験したの方が、より「レベル」の高い学校へ行く傾向が強くなるということである。いうまでもなく、それは、推薦制の導入による内申点の重視を媒介にして、役職経験と成績がある程度相関するようになっていることも示唆している。

しかし、各校に見られた中学校時代の学業成績や小中学校時代の役職経験の違いにもかかわらず、中学校生活で楽しかったことに関しては、少なくともA校とB校の間にそれほど大きな違いは見られない。表15からわかるように、「友人つきあい」、「部活動」、「休み時間」を楽しみとしてあげている生徒がA B両校ともほぼ50%を超え、上位3位となっている。とくに、「友人つきあい」を中学校生活の楽しみとしている生徒は男女、学校を問わず、70%～80%に達している。逆に、「授業」や「先生との関係」といった学校本来の機能に関わるものは、いずれもせいぜい1割台にとどまっている。しかも、これらの点に関して、両校とも階層間に一貫した違いは見られない。

だが、C校になると、事情が多少変わってくる。たしかに、C校の場合にも、全体として「友人つきあい」、「部活動」、「休み時間」が中学校生活の楽しみの上位3位であり、「授業」や「先生との関係」をあげる者が少ないことには変わりはない。この傾向は、いずれの階層においてもほぼ共通している。しかし、全体として「友人つきあい」が6割台、「部活動」が4割台となり、A B両校と比べ、その割合が低下することも事実である。さらに、C校の女子の場合、「休み時間」が27.5%と極端に少なくなる。また、男女とも1割の生徒が楽しみが「ない」としており、この点でもA B両校と異なっている。明らかに、C校生の場合、A校生、B校生と比べ、中学校時代に楽しみを見出せなかった者が多いのである。

したがって、ここから、第一に、いずれの学校においても、男女、階層の如何を問わず、学校本来の機

表13 学校別階層別役職の経験

単位：%

			実 数			構 成 比			
			ありなし合計			ありなし合計			
A	男	安定的経営・管理層	40	9	49	81.6	18.4	100.0	
		不安定経営・管理層	29	4	33	87.9	12.1	100.0	
		自営業層	52	16	68	76.5	23.5	100.0	
		安定的労働者層	55	10	65	84.6	15.4	100.0	
		不安定労働者層	24	11	35	68.6	31.4	100.0	
	校	小	計	200	50	250	80.0	20.0	100.0
B	男	安定的経営・管理層	4	1	5	80.0	20.0	100.0	
		不安定経営・管理層	4	4	8	50.0	50.0	100.0	
		自営業層	15	10	25	60.0	40.0	100.0	
		安定的労働者層	16	14	30	53.3	46.7	100.0	
		不安定労働者層	12	12	24	50.0	50.0	100.0	
	校	小	計	51	41	92	55.4	44.6	100.0
	女	安定的経営・管理層	4	6	10	40.0	60.0	100.0	
		不安定経営・管理層	3	3	6	50.0	50.0	100.0	
		自営業層	25	29	54	46.3	53.7	100.0	
		安定的労働者層	25	22	47	53.2	46.8	100.0	
不安定労働者層		25	21	46	54.3	45.7	100.0		
校	小	計	82	81	163	50.3	49.7	100.0	
C	男	安定的経営・管理層	3	3	6	50.0	50.0	100.0	
		不安定経営・管理層	0	4	4	0.0	100.0	100.0	
		自営業層	4	16	20	20.0	80.0	100.0	
		安定的労働者層	5	12	17	29.4	70.6	100.0	
		不安定労働者層	9	25	34	26.5	73.5	100.0	
	校	小	計	21	60	81	25.9	74.1	100.0
	女	安定的経営・管理層	2	0	2	100.0	0.0	100.0	
		不安定経営・管理層	1	1	2	50.0	50.0	100.0	
		自営業層	2	11	13	15.4	84.6	100.0	
		安定的労働者層	2	10	12	16.7	83.3	100.0	
不安定労働者層		2	8	10	20.0	80.0	100.0		
校	小	計	9	30	39	23.1	76.9	100.0	
階	男	安定的経営・管理層	47	13	60	78.3	21.7	100.0	
		不安定経営・管理層	33	12	45	73.3	26.7	100.0	
		自営業層	71	42	113	62.8	37.2	100.0	
		安定的労働者層	76	36	112	67.9	32.1	100.0	
		不安定労働者層	45	48	93	48.4	51.6	100.0	
	女	安定的経営・管理層	6	6	12	50.0	50.0	100.0	
		不安定経営・管理層	4	4	8	50.0	50.0	100.0	
		自営業層	27	40	67	40.3	59.7	100.0	
		安定的労働者層	27	32	59	45.8	54.2	100.0	
		不安定労働者層	27	29	56	48.2	51.8	100.0	

表14 学校別階層別小中学校で経験した役職の種類

単位：％

		小 学 校			中 学 校				N	
		学級 委員長	児童 会長	児童会 役員	学級 委員長	生徒 会長	生徒会 役員	クラブ 部長		
A	男	安定的経営・管理層	63.3	2.0	24.5	53.1	8.2	24.5	16.3	49
		不安定経営・管理層	60.6	9.1	24.2	51.5	6.1	27.3	12.1	33
		自営業層	60.3	2.9	22.1	47.1	4.4	13.2	16.2	68
		安定的労働者層	73.8	0.0	15.4	53.8	1.5	10.8	16.9	65
		不安定労働者層	57.1	8.6	11.4	37.1	2.9	20.0	11.4	35
	校	小計	64.0	3.6	19.6	49.2	4.4	17.6	15.2	250
B	男	安定的経営・管理層	80.0	0.0	20.0	60.0	0.0	20.0	0.0	5
		不安定経営・管理層	25.0	0.0	12.5	25.0	0.0	12.5	0.0	8
		自営業層	48.0	0.0	4.0	32.0	4.0	4.0	16.0	25
		安定的労働者層	30.0	3.3	3.3	16.7	0.0	10.0	10.0	30
		不安定労働者層	37.5	12.5	4.2	25.0	0.0	4.2	16.7	24
	校	小計	39.1	4.3	5.4	26.1	1.1	7.6	12.0	92
C	女	安定的経営・管理層	30.0	0.0	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0	10
		不安定経営・管理層	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	16.7	16.7	6
		自営業層	31.5	1.9	9.3	11.1	0.0	1.9	16.7	54
		安定的労働者層	38.3	0.0	12.8	21.3	0.0	2.1	4.3	47
		不安定労働者層	34.8	4.3	2.2	21.7	0.0	2.2	23.9	46
	校	小計	33.1	1.8	10.4	17.8	0.0	3.7	14.1	163
D	男	安定的経営・管理層	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	33.3	6
		不安定経営・管理層	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4
		自営業層	15.0	0.0	5.0	5.0	0.0	0.0	5.0	20
		安定的労働者層	11.8	5.9	5.9	5.9	0.0	11.8	0.0	17
		不安定労働者層	14.7	0.0	0.0	5.9	0.0	5.9	8.8	34
	校	小計	12.3	1.2	3.7	6.2	0.0	4.9	7.4	81
E	女	安定的経営・管理層	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2
		不安定経営・管理層	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2
		自営業層	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	7.7	7.7	13
		安定的労働者層	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	12
		不安定労働者層	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	10
	校	小計	7.7	0.0	5.1	0.0	0.0	5.1	7.7	39
階層	男	安定的経営・管理層	58.3	1.7	23.3	50.0	6.7	21.7	16.7	60
		不安定経営・管理層	48.9	6.7	20.0	42.2	4.4	22.2	8.9	45
		自営業層	49.6	1.8	15.0	36.3	3.5	8.8	14.2	113
		安定的労働者層	52.7	1.8	10.7	36.6	0.9	10.7	12.5	112
		不安定労働者層	36.6	6.5	5.4	22.6	1.1	10.8	11.8	93
	女	安定的経営・管理層	41.7	0.0	33.3	16.7	0.0	16.7	0.0	12
		不安定経営・管理層	0.0	0.0	25.0	12.5	0.0	12.5	12.5	8
		自営業層	25.4	1.5	9.0	9.0	0.0	3.0	14.9	67
		安定的労働者層	32.2	0.0	10.2	16.9	0.0	3.4	3.4	59
		不安定労働者層	28.6	3.6	1.8	17.9	0.0	1.8	23.2	56

表15 学校別階層別中学校で楽しかったこと

単位：%

		授業	部活動	友人づ きあい	異性と の関係	先生と の関係	生徒会	運動会	文化祭	給食の 時間	休 み 時 間	修 学 旅 行	その他	なし	N	一人 当 り 項 目 数	
A	男	安定的経営・管理層	22.4	65.3	79.6	20.4	14.3	14.3	12.2	12.2	28.6	53.1	2.0	2.0	8.2	49	3.3
		不安定経営・管理層	15.2	54.5	75.8	3.0	3.0	6.1	12.1	18.2	15.2	42.4	3.0	3.0	6.1	33	2.6
		自営業層	11.9	59.7	76.1	22.4	14.9	7.5	26.9	16.4	28.4	58.2	3.0	4.5	1.5	67	3.3
		安定的労働者層	7.7	61.5	78.5	16.9	9.2	6.2	12.3	10.8	24.6	50.8	0.0	7.7	7.7	65	2.9
		不安定労働者層	20.0	54.3	77.1	20.0	14.3	8.6	20.0	14.3	37.1	48.6	0.0	8.6	5.7	35	3.3
校	小計	14.5	59.8	77.5	17.7	11.6	8.4	17.3	14.1	26.9	51.8	1.6	5.2	5.6	249	3.1	
B	男	安定的経営・管理層	20.0	80.0	100.0	40.0	40.0	20.0	60.0	20.0	60.0	100.0	0.0	20.0	20.0	5	5.8
		不安定経営・管理層	0.0	37.5	37.5	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	37.5	0.0	0.0	0.0	8	1.4
		自営業層	4.0	72.0	76.0	16.0	0.0	0.0	20.0	16.0	36.0	44.0	0.0	0.0	0.0	25	2.8
		安定的労働者層	12.9	71.0	74.2	3.2	6.5	3.2	16.1	25.8	29.0	48.4	3.2	0.0	0.0	31	2.9
		不安定労働者層	16.7	75.0	75.0	16.7	16.7	4.2	20.8	25.0	20.8	41.7	0.0	4.2	0.0	24	3.2
校	小計	10.8	69.9	73.1	11.8	8.6	3.2	20.4	20.4	29.0	47.3	1.1	2.2	1.1	93	3.0	
校	女	安定的経営・管理層	10.0	70.0	70.0	10.0	10.0	0.0	20.0	20.0	40.0	40.0	0.0	10.0	10.0	10	3.1
		不安定経営・管理層	16.7	83.3	83.3	16.7	16.7	0.0	50.0	16.7	66.7	83.3	0.0	0.0	0.0	6	4.3
		自営業層	5.6	61.1	83.3	18.5	18.5	0.0	33.3	22.2	27.8	59.3	3.7	0.0	5.6	54	3.4
		安定的労働者層	10.6	57.4	87.2	21.3	23.4	2.1	40.4	34.0	51.1	48.9	2.1	4.3	2.1	47	3.9
		不安定労働者層	8.5	74.5	76.6	12.8	10.6	0.0	31.9	19.1	36.2	53.2	2.1	4.3	0.0	47	3.3
校	小計	8.5	65.2	81.7	17.1	17.1	0.6	34.8	24.4	39.0	54.3	2.4	3.0	3.0	164	3.5	
C	男	安定的経営・管理層	0.0	50.0	83.3	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	50.0	33.3	0.0	0.0	6	2.7
		不安定経営・管理層	0.0	40.0	60.0	20.0	0.0	0.0	20.0	40.0	20.0	40.0	0.0	20.0	20.0	5	2.8
		自営業層	13.6	54.5	63.6	18.2	9.1	0.0	18.2	22.7	40.9	77.3	4.5	4.5	4.5	22	3.3
		安定的労働者層	17.6	29.4	82.4	11.8	23.5	0.0	29.4	23.5	35.3	47.1	0.0	0.0	11.8	17	3.1
		不安定労働者層	5.9	44.1	64.7	8.8	14.7	0.0	17.6	14.7	26.5	38.2	2.9	0.0	14.7	34	2.5
校	小計	9.5	44.0	69.0	13.1	13.1	0.0	20.2	20.2	29.8	51.2	4.8	2.4	10.7	84	2.9	
校	女	安定的経営・管理層	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	2	1.0
		不安定経営・管理層	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	3	1.0
		自営業層	7.7	46.2	76.9	0.0	0.0	0.0	23.1	38.5	30.8	38.5	15.4	0.0	7.7	13	2.8
		安定的労働者層	0.0	58.3	58.3	0.0	16.7	0.0	8.3	16.7	16.7	33.3	8.3	0.0	8.3	12	2.3
		不安定労働者層	0.0	30.0	70.0	10.0	10.0	0.0	20.0	10.0	20.0	20.0	0.0	0.0	10.0	10	2.0
校	小計	2.5	45.0	62.5	2.5	7.5	0.0	15.0	20.0	20.0	27.5	7.5	2.5	10.0	40	2.2	
階	男	安定的経営・管理層	20.0	65.0	81.7	21.7	15.0	13.3	16.7	13.3	28.3	56.7	5.0	3.3	8.3	60	3.5
		不安定経営・管理層	10.9	50.0	67.4	4.3	2.2	4.3	13.0	17.4	15.2	41.3	2.2	4.3	6.5	46	2.4
		自営業層	10.5	61.4	73.7	20.2	10.5	4.4	23.7	17.5	32.5	58.8	2.6	3.5	1.8	114	3.2
		安定的労働者層	10.6	59.3	77.9	12.4	10.6	4.4	15.9	16.8	27.4	49.6	0.9	4.4	6.2	113	3.0
		不安定労働者層	14.0	55.9	72.0	15.1	15.1	4.3	19.4	17.2	29.0	43.0	1.1	4.3	7.5	93	3.0
層	女	安定的経営・管理層	8.3	66.7	58.3	8.3	8.3	0.0	16.7	16.7	33.3	33.3	0.0	16.7	8.3	12	2.8
		不安定経営・管理層	11.1	66.7	66.7	11.1	11.1	0.0	33.3	11.1	44.4	55.6	0.0	0.0	11.1	9	3.2
		自営業層	6.0	58.2	82.1	14.9	14.9	0.0	31.3	25.4	28.4	55.2	6.0	0.0	6.0	67	3.3
		安定的労働者層	8.5	57.6	81.4	16.9	22.0	1.7	33.9	30.5	44.1	45.8	3.4	3.4	3.4	59	3.5
		不安定労働者層	7.0	66.7	75.4	12.3	10.5	0.0	29.8	17.5	33.3	47.4	1.8	3.5	1.8	57	3.1

注) 一人当たり項目数、 「なし」と答えた者も含めた数値である。

能に関する「授業」や「教師との関係」を中学校生活の楽しみとしていた者はまれであり、「友人づきあい」、「部活動」、「休み時間」が中学校生活の楽しみの主流になっていたこと、第二に、とくにC校の場合、「友人づきあい」、「部活動」、「休み時間」を含めてみても、全体として中学校生活を楽しんでいた者がA校、B校と比べ少ないことが明らかになる。

一方、中学校生活で悩んでいたことについて見てみると（表16）、中学校生活の楽しみとは対照的に、A校の生徒とB校、C校の生徒の間に大きな違いが存在することがわかる。つまり、3校のうち、A校の生徒は、「悩みなし」とする者が42.1%もあり、もっとも多い悩みとしてあげられた「進路」も24.7%にすぎない。この点に関して、階層的な違いも見られない。

これに対し、B校、C校の生徒の場合、「悩みなし」とする者はほぼ2割台しかいない。階層の如何を問わず、多くの生徒は「成績」や「進路」に悩み、B校、C校の男女とも、いずれか一方が40%を超えている。とくに、C校の男子は「成績」に悩んでいた者が52.4%に及んでいる。また、C校の女子の場合、「成績」や「進路」だけでなく、「部活動」や「友人づきあい」にも3割以上の者が悩んでおり、悩みが広範にわたっているという特徴も見られる。その意味で、A校と、B校、C校の生徒の間に大きな違いが見出せる。

それでは、彼らはこうした悩みを誰に相談していたのであろうか。表17から、この点を検討してみると、A校の生徒に「相談しない」者が多く（42.0%）、B校の女子生徒に「相談しない」者が少ない（9.9%）ことがわかる。しかし、いずれの学校の生徒も、ほぼ男女、階層に関わりなく、「学校の友人」に相談することがもっとも多かったのも事実である。なかには、「担任に相談した。すごくいい先生。今までの先生で一番良かった」（B女・安定的労働者）、「担任の女の先生に相談した。交換日記をしていた。やりたい人が先生とやる」（B女・安定的労働者）というように教師に相談した者や、「母親がいつも話しかけてくるので」（C男・不安定労働者）母親に相談した者もいるが、それらは少数派である。ここから、いずれの学校の生徒にとっても、「学校の友人」が教師や家族以上に学校生活の相談相手として位置づけられていたことが明らかになる。ただし、その割合は、男女間で大きく異なり、B校、C校とも男子の方が女子よりも約20%～30%も少なくなっている。したがって、悩みの相談相手は、学校、男女、階層に関わりなく、「学校の友人」が多いこと、しかし、その割合には男女間に開きがあり、男子は女子より相談する割合が低いこと、とくにA校生＝男子の場合、その傾向が著しいことが明らかになる。^(補注)

（補注）もちろん、中学時代の悩みやその相談相手に関するこれらの数値は、その背後に実に重たい現実を含んでいることも忘れてはならない。たとえば、面接調査の際にB校の1人の女子が語った内容は、数値で把握された現実に含まれている重みを教えてくれる。

「H中の時、集団いじめにあった。その時初めて死にたくなかった。『けいこちゃん、こっち来て目つぶってみて』と言われ、目を開いたら誰もいなかった。勝手に班長やらされたり。でも、部活（ソフトボール）があったので何とか耐えた。これがなかったら学校来なかった。ちょうど転校の時期と重なって何とかうまくいった。I中の修学旅行の時に、どろぼう扱いもされたことある。1ヶ月くらい学校行かなかった。母親（注・母子家庭）や学校の友人に相談した。その子も、あまり学校へ来てなかった。そのあと、中卒ですぐ働いている。女の子で工場内でウェイトレスをやってる。I中でいじめられた時、この子に救われた。『あの子をいじめないで』とかばってくれた。彼女は今でも絶対に信頼できる友人」（B女・自営業）。

このように見てくると、中学校生活の楽しみ、悩みやその相談相手は、階層とはそれほどかわりなく、主として学校や性によって、異なる特徴を示していたことがわかる。すなわち、A校の生徒は中学校生活に少なからぬ楽しみを見出し、悩みも少なく、悩みがあった場合、学校の友人に相談するか、誰にも相談していなかった。これに対し、B校の生徒は中学校生活をいろいろな面で楽しんでいたが、「進路」や「成績」の悩みを抱えており、主として学校の友人にその悩みを相談していた。ただし、男子の場合、学校の友人に相談する者は女子よりも少なかった。一方、C校の生徒になると、中学校生活の楽しみは少な

表16 学校別階層別中学校生活で悩んでいたこと

単位：%

		進路	授業	成績	部活動	友人づ	異性と	先輩と	校則	生徒会	先生と	その他	なし	N	1次取り 項目数	
						きあい	の関係	の関係			の関係					
A	男	安定的経営・管理層	10.2	2.0	12.2	30.6	28.6	6.1	8.2	2.0	0.0	4.1	2.0	42.9	49	1.5
		不安定経営・管理層	27.3	6.1	15.2	15.2	9.1	18.2	3.0	0.0	6.1	9.1	0.0	51.5	33	1.6
		自営業層	20.9	4.5	22.4	25.4	22.4	25.4	7.5	3.0	0.0	7.5	4.5	37.3	67	1.8
		安定的労働者層	36.5	3.2	19.0	19.0	25.4	15.9	6.3	7.9	1.6	6.3	7.9	41.3	63	1.9
		不安定労働者層	28.6	5.7	20.0	25.7	20.0	17.1	8.6	11.4	5.7	8.6	5.7	42.9	35	2.0
	小計	24.7	4.0	18.2	23.5	22.3	17.0	6.9	4.9	2.0	6.9	4.5	42.1	247	1.8	
B	男	安定的経営・管理層	20.0	0.0	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	5	1.6
		不安定経営・管理層	57.1	14.3	57.1	14.3	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	7	1.9
		自営業層	44.0	0.0	44.0	12.0	16.0	4.0	12.0	8.0	4.0	4.0	0.0	20.0	25	1.7
		安定的労働者層	43.3	13.3	40.0	10.0	10.0	10.0	6.7	10.0	0.0	6.7	3.3	20.0	30	1.7
		不安定労働者層	50.0	0.0	41.7	16.7	12.5	4.2	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	29.2	24	1.6
	小計	45.1	5.5	42.9	14.3	12.1	5.5	7.7	6.6	1.1	3.3	1.1	23.1	91	1.7	
校	女	安定的経営・管理層	30.0	0.0	30.0	30.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	10	1.6
		不安定経営・管理層	50.0	16.7	50.0	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6	1.7
		自営業層	51.9	3.7	42.6	31.5	29.6	13.0	9.3	7.4	0.0	7.4	0.0	13.0	54	2.1
		安定的労働者層	40.4	0.0	25.5	25.5	25.5	12.8	19.1	10.6	0.0	2.1	2.1	29.8	47	1.9
		不安定労働者層	37.0	2.2	32.6	32.6	34.8	8.7	10.9	0.0	0.0	2.2	0.0	17.4	46	1.8
	小計	42.9	2.5	34.4	28.8	29.4	11.7	11.7	5.5	0.0	3.7	0.6	20.2	163	1.9	
C	男	安定的経営・管理層	33.3	0.0	50.0	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	6	1.5
		不安定経営・管理層	40.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	5	1.6
		自営業層	13.6	4.5	59.1	18.2	13.6	0.0	9.1	4.5	0.0	4.5	0.0	31.8	22	1.6
		安定的労働者層	64.7	11.8	58.8	29.4	5.9	5.9	5.9	11.8	0.0	11.8	0.0	17.6	17	2.2
		不安定労働者層	34.4	3.1	50.0	9.4	15.6	9.4	9.4	3.1	0.0	3.1	0.0	31.3	32	1.7
	小計	35.4	6.1	52.4	15.9	12.2	6.1	8.5	4.9	0.0	6.1	1.2	26.8	82	1.8	
校	女	安定的経営・管理層	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2	1.0
		不安定経営・管理層	33.3	33.3	66.7	66.7	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	3	3.0
		自営業層	38.5	15.4	30.8	38.5	30.8	0.0	46.2	0.0	0.0	0.0	7.7	15.4	13	2.2
		安定的労働者層	41.7	8.3	50.0	25.0	33.3	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	12	2.0
		不安定労働者層	30.0	20.0	30.0	30.0	30.0	10.0	30.0	10.0	0.0	0.0	10.0	20.0	10	2.2
	小計	35.0	15.0	40.0	35.0	30.0	7.5	27.5	2.5	0.0	2.5	5.0	15.0	40	2.2	
階	男	安定的経営・管理層	13.3	1.7	18.3	28.3	26.7	6.7	8.3	1.7	0.0	3.3	1.7	40.0	60	1.5
		不安定経営・管理層	33.3	8.9	22.2	15.6	6.7	13.3	4.4	2.2	4.4	8.9	2.2	42.2	45	1.6
		自営業層	24.6	3.5	34.2	21.1	19.3	15.8	8.8	4.4	0.9	6.1	2.6	32.5	114	1.7
		安定的労働者層	42.7	7.3	30.9	18.2	18.2	12.7	6.4	9.1	0.9	7.3	5.5	31.8	110	1.9
		不安定労働者層	36.3	3.3	36.3	17.6	16.5	11.0	7.7	5.5	2.2	4.4	2.2	35.2	91	1.8
	小計	25.0	0.0	33.3	33.3	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	12	1.5	
層	女	安定的経営・管理層	44.4	22.2	55.6	22.2	33.3	11.1	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	9	2.1
		自営業層	49.3	6.0	40.3	32.8	29.9	10.4	16.4	6.0	0.0	6.0	1.5	13.4	67	2.1
		安定的労働者層	40.7	1.7	30.5	25.4	27.1	13.6	16.9	8.5	0.0	1.7	1.7	27.1	59	1.9
		不安定労働者層	35.7	5.4	32.1	32.1	33.9	8.9	14.3	1.8	0.0	1.8	1.8	17.9	56	1.9
		小計	35.0	15.0	40.0	35.0	30.0	7.5	27.5	2.5	0.0	2.5	5.0	15.0	40	2.2

表17 学校別階層別中学校の極みの相談相手

単位：%

		学校の友人	学校外の友人	担任の先生	部活の先生	その他の先生	塾の先生	父親	母親	兄弟	親戚	その他	相談しない	N	対項目数		
A	男	安定的経営・管理層	37.0	0.0	3.7	3.7	0.0	3.7	7.4	25.9	0.0	0.0	0.0	51.9	27	1.3	
		不安定経営・管理層	62.5	6.3	6.3	0.0	0.0	0.0	18.8	37.5	0.0	6.3	0.0	18.8	16	1.6	
		自営業層	41.9	4.7	11.6	4.7	0.0	0.0	11.6	18.6	2.3	0.0	2.3	48.8	43	1.5	
		安定的労働者層	36.8	2.6	7.9	0.0	0.0	2.6	10.5	26.3	7.9	0.0	0.0	42.1	38	1.4	
		不安定労働者層	52.6	10.5	15.8	0.0	0.0	0.0	15.8	31.6	0.0	0.0	0.0	31.6	19	1.6	
	校	小計	43.4	4.2	9.1	2.1	0.0	1.4	11.9	25.9	2.8	0.7	0.7	42.0	143	1.4	
	B	男	安定的経営・管理層	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	3	2.0
			不安定経営・管理層	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	6	1.3
			自営業層	40.0	5.0	20.0	0.0	0.0	0.0	5.0	10.0	0.0	0.0	0.0	35.0	20	1.2
			安定的労働者層	68.0	0.0	8.0	0.0	0.0	0.0	12.0	12.0	0.0	4.0	0.0	24.0	25	1.3
不安定労働者層			43.8	0.0	6.3	0.0	0.0	6.3	18.8	12.5	0.0	0.0	0.0	37.5	16	1.3	
校		小計	52.9	1.4	12.9	0.0	0.0	1.4	12.9	12.9	1.4	1.4	0.0	30.0	70	1.3	
校		女	安定的経営・管理層	66.7	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	6	1.8
			不安定経営・管理層	50.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	6	1.3
			自営業層	69.6	6.5	15.2	8.7	2.2	0.0	4.3	41.3	10.9	0.0	0.0	6.5	46	1.7
			安定的労働者層	61.8	11.8	26.5	0.0	2.9	0.0	0.0	26.5	0.0	0.0	2.9	8.8	34	1.4
	不安定労働者層		89.7	7.7	2.6	5.1	0.0	2.6	7.7	35.9	5.1	0.0	0.0	7.7	39	1.6	
	校	小計	72.5	7.6	15.3	6.1	2.3	0.8	3.8	33.6	5.3	0.0	0.8	9.9	131	1.6	
	C	男	安定的経営・管理層	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0	40.0	5	1.6
			不安定経営・管理層	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4	1.3
			自営業層	40.0	0.0	20.0	13.3	0.0	0.0	13.3	20.0	13.3	0.0	6.7	33.3	15	1.6
			安定的労働者層	46.2	7.7	38.5	7.7	7.7	0.0	38.5	30.8	7.7	0.0	0.0	30.8	13	2.2
不安定労働者層			34.8	0.0	21.7	8.7	4.3	0.0	8.7	26.1	13.0	0.0	0.0	34.8	23	1.5	
校		小計	40.0	1.7	25.0	8.3	3.3	0.0	18.3	26.7	10.0	0.0	1.7	31.7	60	1.7	
校		女	安定的経営・管理層	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	2	1.0
			不安定経営・管理層	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	3	1.7
			自営業層	81.8	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0	9.1	18.2	9.1	9.1	0.0	9.1	11	1.5
			安定的労働者層	60.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	30.0	10	1.2
	不安定労働者層		62.5	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	12.5	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	8	2.0	
	校	小計	67.6	0.0	14.7	2.9	0.0	0.0	5.9	26.5	11.8	2.9	0.0	20.6	34	1.5	
	階	男	安定的経営・管理層	37.1	0.0	8.6	2.9	0.0	2.9	14.3	28.6	0.0	0.0	0.0	48.6	35	1.4
			不安定経営・管理層	61.5	3.8	11.5	0.0	0.0	0.0	15.4	30.8	3.8	3.8	0.0	15.4	26	1.5
			自営業層	41.0	3.8	15.4	5.1	0.0	0.0	10.3	16.7	3.8	0.0	2.6	42.3	78	1.4
			安定的労働者層	48.7	2.6	13.2	1.3	1.3	1.3	15.8	22.4	5.3	1.3	0.0	34.2	76	1.5
不安定労働者層			43.1	3.4	15.5	3.4	1.7	1.7	13.8	24.1	5.2	0.0	0.0	34.5	58	1.5	
層		女	安定的経営・管理層	62.5	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	37.5	8	1.6
不安定経営・管理層			55.6	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	33.3	11.1	0.0	0.0	22.2	9	1.4	
自営業層			71.9	5.3	15.8	7.0	1.8	0.0	5.3	36.8	10.5	1.8	0.0	7.0	57	1.6	
安定的労働者層			61.4	9.1	25.0	0.0	2.3	0.0	0.0	22.7	0.0	0.0	2.3	13.6	44	1.4	
不安定労働者層			85.1	6.4	4.3	6.4	0.0	2.1	8.5	38.3	8.5	0.0	0.0	10.6	47	1.7	

く、「進路」や「成績」を中心にした悩みを抱えていた。とくに、女子生徒の場合、学校生活の悩みは多岐にわたっていた。しかし、悩みの相談相手は、A校、B校と同様、学校の友人が多く、男子生徒の場合、女子と比べ、その割合は少なかった。

こうして、学校の「ランク」によって、高校生たちの小中学校時代の生活のあり方は大きく異なっていたことが明らかになる。逆にいえば、小中学校時代の生活の過ごし方の違いが自らが通う現在の学校の「ランク」に基本的に結びついているということである。

[注]

(1)業績主義と属性の関係については、小内透「教育の問題状況——学歴社会のゆくえ」笹谷春美・吉崎祥司・藤井史朗・小内透編『変動期の社会学』中央法規出版、1992年、および梶田孝道「業績主義の中の属性主義」『社会学評論』第32巻、第3号、1981年（のちに梶田孝道『エスニシティと社会変動』有信堂、1988年に収録）を参照のこと。

(2)ここでは、世帯を単位にした階層分類を用いている。具体的には、父母の就業している職場の社会的分業上の位置と職場内分業における職業的位置を指標として、父母それぞれの階層を設定した上で、階層的位置の高い方を世帯を代表する階層として設定した。なお、階層設定の方法については、小内透「工業集積地域における階級・階層構造と労働—生活世界」『調査と社会理論・研究報告書』15、北海道大学教育学部教育社会学研究室、1997年、第1章および第3章参照。